

令和7年度開設予定の大学の学部等の設置届出一覧(令和6年4月分)

1 大学の学部設置 21 校

令和6年4月分

区分	大学名	学部等名	学科等名	入学定員	位置	設置者	附帯事項【遵守事項】	備考	
私立	北海道科学大学	情報科学部	情報科学科	100	北海道札幌市	学校法人 北海道科学大学	・特になし。	工学部 情報工学科(廃止) ※令和7年4月学生募集停止 保健医療学部 義肢装具学科(廃止) ※令和7年4月学生募集停止	(△90) (△30)
私立	東北工業大学	工学部	電気電子工学課程 情報通信工学課程 都市工学課程 環境応用化学課程	120 120 80 65	宮城県仙台市	学校法人 東北工業大学	・工学部情報通信工学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・ライフデザイン学部産業デザイン学科、経営コミュニケーション学科の収容定員超過の是正に努めること。	工学部 電気電子工学科(廃止) 情報通信工学科(廃止) 都市マネジメント学科(廃止) 環境応用化学科(廃止) ※令和7年4月学生募集停止 令和7年4月名称変更予定 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 → 経営デザイン学科	(△120) (△120) (△80) (△65)
私立	東北福祉大学	共生まちづくり学部	共生まちづくり学科	120	宮城県仙台市	学校法人 梅檀学園	・[通信教育課程]総合福祉学部社会福祉学科の収容定員未充足の是正に努めること。	総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科(廃止) 情報福祉マネジメント学科(廃止) ※令和7年4月学生募集停止	(△100) (△100)
私立	千葉商科大学	総合政策学部	経済学科 政策情報学科	150 150	千葉市川市	学校法人 千葉学園	・政策情報学部政策情報学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・国際教養学部国際教養学科の収容定員未充足の是正に努めること。	商経学部 経済学科(廃止) ※令和7年4月学生募集停止 政策情報学部(廃止) 政策情報学科 ※令和7年4月学生募集停止 国際教養学部(廃止) 国際教養学科 ※令和7年4月学生募集停止	(△200) (△125) (△75)
私立	実践女子大学	環境デザイン学部	環境デザイン学科	81	東京都日野市	学校法人 実践女子学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・人間社会学部人間社会学科、社会デザイン学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・国際学部国際学科の収容定員超過の是正に努めること。	生活科学部 生活環境学科(廃止) (3年次編入学定員) ※令和7年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和9年4月学生募集停止)	(△80) (△2)
私立	清泉女子大学	総合文化学部	総合文化学科	230	東京都品川区	学校法人 清泉女子大学	・特になし。	文学部(廃止) 日本語日本文学科 英語英文学科 スペイン語スペイン文学科 文化史学科 地球市民学科 ※令和7年4月学生募集停止	(△65) (△75) (△40) (△90) (△60)
		地球市民学部	地球市民学科	100					

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

私立	日本女子大学	食科学部 食科学科 栄養学科	38 50	東京都文京区	学校法人 日本女子大学	・ [通信教育課程] 家政学部児童学科、食物学科の収容定員未充足の是正に努めること。	家政学部 食物学科 (廃止) (△81) 通信教育課程 食物学科 (廃止) (△1000) ※令和7年4月学生募集停止 被服学科 [定員減] (△7) 通信教育課程 児童学科 [定員減] (△960) 文学部 英文学科 [定員減] (△16)
私立	駒沢女子大学	空間デザイン学部 空間デザイン学科	70	東京都稲城市	学校法人 駒澤学園	・ 人間総合学群人間文化学類、観光文化学類の収容定員未充足の是正に努めること。	人間総合学群 人間文化学類 (廃止) (△170) (3年次編入学定員) (△20) 心理学類 (廃止) (△80) 住空間デザイン学類 (廃止) (△60) ※令和7年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和9年4月学生募集停止) 令和7年4月名称変更予定 人間総合学群 → 観光文化学部 観光文化学類 → 観光文化学科
私立	亜細亜大学	社会学部 現代社会学科	145	東京都武蔵野市	学校法人 亜細亜学園	・ 国際関係学部多文化コミュニケーション学科の収容定員超過の是正に努めること。	都市創造学部 (廃止) 都市創造学科 (△145) ※令和7年4月学生募集停止
私立	田園調布学園大学	子ども教育学部 子ども教育学科	80	神奈川県川崎市	学校法人 調布学園	・ 子ども未来学部子ども未来学科の収容定員未充足の是正に努めること。	子ども未来学部 (廃止) 子ども未来学科 (△80) ※令和7年4月学生募集停止
私立	フェリス女学院大学	グローバル教養学部 国際社会学科 心理コミュニケーション学科 文化表現学科	195 180 170	神奈川県横浜市	学校法人 フェリス女学院	・ 二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	文学部 (廃止) 英語英米文学科 (△90) 日本語日本文学科 (△90) コミュニケーション学科 (△90) ※令和7年4月学生募集停止 音楽学部 (廃止) 音楽芸術学科 (△75) ※令和7年4月学生募集停止 国際交流学部 (廃止) 国際交流学科 (△197) (2年次編入学定員) (△4) ※令和7年4月学生募集停止 (2年次編入学定員は令和8年4月学生募集停止)

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

私立	金沢工業大学	情報理工学部 情報工学科 120 知能情報システム学科 120 ロボティクス学科 80 メディア情報学部 メディア情報学科 140 心理情報デザイン学科 60 情報デザイン学部 経営情報学科 60 環境デザイン創成学科 40	石川県野々市市	学校法人 金沢工業大学	・工学部航空システム工学科の収容定員未充足の是正に努めること。	工学部 機械工学科（廃止） (△200) ロボティクス学科（廃止） (△100) 電気電子工学科（廃止） (△220) 情報工学科（廃止） (△200) ※令和7年4月学生募集停止 環境土木工学科〔定員減〕 (△20) 情報フロンティア学部（廃止） メディア情報学科 (△120) 経営情報学科 (△60) 心理科学科 (△60) ※令和7年4月学生募集停止 建築学部 建築学科（廃止） (△200) ※令和7年4月学生募集停止 バイオ・化学部 応用化学科〔定員減〕 (△10) 応用バイオ学科〔定員減〕 (△10) 令和7年4月名称変更予定 工学部 航空システム工学科 → 航空宇宙工学科 バイオ・化学部 応用化学科 → 環境・応用化学科 応用バイオ学科 → 生命・応用バイオ学科
私立	岐阜聖徳学園大学	人文学部 人文学科 150	岐阜県岐阜市	学校法人 聖徳学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・外国語学部外国語学科の収容定員未充足の是正に努めること。	外国語学部（廃止） 外国語学科 (△150) ※令和7年4月学生募集停止
私立	日本福祉大学	工学部 工学科 100	愛知県半田市	学校法人 日本福祉大学	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・〔通信教育課程〕福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・国際学部国際学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・教育・心理学部子ども発達学科の収容定員未充足の是正に努めること。	健康科学部 福祉工学科（廃止） (△100) ※令和7年4月学生募集停止 リハビリテーション学科〔定員減〕 (△40) 令和7年4月名称変更予定 教育・心理学部 子ども発達学科 → こども学科
私立	愛知淑徳大学	教育学部 教育学科 140 建築学部 建築学科 130	愛知県長久手市	学校法人 愛知淑徳学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（教育学部教育学科） ・文学部国文学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・食健康科学部食創造科学科の収容定員未充足の是正に努めること。	文学部 総合英語学科（廃止） (△100) 教育学科（廃止） (△100) ※令和7年4月学生募集停止 創造表現学部 創造表現学科〔定員減〕 (△70) 交流文化学部 交流文化学科〔定員減〕 (△20)

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

私立	大阪産業大学	情報デザイン学部 情報システム学科 (3年次編入学定員) 130 3 建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科 (3年次編入学定員) 165 3 システム工学部 システム工学科 (3年次編入学定員) 240 8	大阪府大東市	学校法人 大阪産業大学	・デザイン工学部環境理工学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・工学部都市創造工学科の収容定員未充足の是正に努めること。	デザイン工学部 (廃止) 情報システム学科 (3年次編入学定員) (Δ105) 建築・環境デザイン学科 (3年次編入学定員) (Δ2) (Δ116) 環境理工学科 (3年次編入学定員) (Δ2) (Δ85) (Δ2) ※令和7年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和9年4月学生募集停止) 工学部 (廃止) 機械工学科 (Δ105) (3年次編入学定員) (Δ2) 交通機械工学科 (Δ105) (3年次編入学定員) (Δ2) 都市創造工学科 (Δ100) (3年次編入学定員) (Δ2) 電気電子情報工学科 (Δ100) (3年次編入学定員) (Δ2) ※令和7年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和9年4月学生募集停止)
私立	大阪電気通信大学	健康情報学部 健康情報学科 (3年次編入学定員) 165 2	大阪府四条畷市	学校法人 大阪電気通信大学	・工学部電気電子工学科、電子機械工学科、機械工学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・建築・デザイン学部建築・デザイン学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・情報通信工学部通信工学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・総合情報学部ゲーム&メディア学科、情報学科の収容定員超過の是正に努めること。	医療健康科学部 (廃止) 医療科学科 (Δ80) (3年次編入学定員) (Δ1) 理学療法学科 (Δ40) 健康スポーツ科学科 (Δ70) (3年次編入学定員) (Δ1) ※令和7年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和9年4月学生募集停止)
私立	甲南女子大学	心理学部 心理学科 90	兵庫県神戸市	学校法人 甲南女子学園	・文学部メディア表現学科の収容定員超過の是正に努めること。	人間科学部 心理学科 (廃止) (Δ90) (令和7年4月学生募集停止)
私立	神戸常盤大学	看護学部 看護学科 85	兵庫県神戸市	学校法人 玉田学園	・保健科学部診療放射線学科の収容定員超過の是正に努めること。	保健科学部 看護学科 (廃止) (Δ85) ※令和7年4月学生募集停止
私立	神戸女学院大学	生命環境学部 生命環境学科 80	兵庫県西宮市	学校法人 神戸女学院	・音楽学部音楽学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・心理学部心理学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・国際学部英語学科の収容定員未充足の是正に努めること。	人間科学部 (廃止) 環境・バイオサイエンス学科 (Δ80) ※令和7年4月学生募集停止
私立	くらしき作陽大学	健康スポーツ教育学部 健康スポーツ教育学科 60	岡山県倉敷市	学校法人 作陽学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・音楽部音楽学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・食文化学部現代食文化学科、栄養学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・子ども教育学部子ども教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	食文化学部 現代食文化学科 [定員減] (Δ30) 子ども教育学部 子ども教育学科 [定員減] (Δ30) 令和7年4月名称変更予定 食文化学部 現代食文化学科 → 食マネジメント学科
計	21 校	27 学部 38 組織				

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

2 短期大学の学科設置 2 校

令和6年4月分

区分	大 学 名	学 部 等 名	学 科 等 名	入学定員	位 置	設 置 者	附 帯 事 項 【 遵 守 事 項 】	備 考
私立	滋賀短期大学	デジタルライフビジネス学科		150人	滋賀県大津市	学校法人 純美禮学園	・特になし。	生活学科（廃止） ※令和7年4月学生募集停止 (△70) ビジネスコミュニケーション学科（廃止） ※令和7年4月学生募集停止 (△100) デジタルライフビジネス学科（廃止） ※令和7年4月学生募集停止 (△30)
私立	藍野大学短期大学部	看護学科 2年課程 3年課程		130 60	大阪府大阪市	学校法人 藍野大学	・第一看護学科の収容定員超過の是正に努めること。	第一看護学科（廃止） ※令和7年4月学生募集停止 (△100) 第二看護学科（廃止） ※令和7年4月学生募集停止 (△80)
計	2 校		2 学科					

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

区分	大 学 名	学 部 等 名	学 科 等 名	入学定員 人	位 置	設 置 者	附 帯 事 項 【 遵 守 事 項 】	備 考
私立	北里大学	獣医学部 グリーン環境創成科学科		100	神奈川県相模原市	学校法人 北里研究所	・健康科学部看護学科、医療検査学科の収容定員未充足の是正に努めること。	獣医学部 生物環境科学科（廃止） ※令和7年4月学生募集停止 動物資源科学科〔定員減〕 (△90) (△10)
私立	昭和女子大学	国際学部 国際日本学科		100	東京都世田谷区	学校法人 昭和女子大学	・特になし。	国際学部 英語コミュニケーション学科〔定員減〕 (△100) 人間文化学部 日本語日本文学科〔定員減〕 (△20) 食健康科学部 健康デザイン学科 (3年次編入学定員)〔定員減〕 (△5) 令和7年4月名称変更予定 国際学部 英語コミュニケーション学科 → 国際教養学科
私立	東京女子大学	現代教養学部 国際社会学科 経済経営学科 心理学科 社会コミュニケーション学科		120 155 80 145	東京都杉並区	学校法人 東京女子大学	・特になし。	現代教養学部 国際英語学科（廃止） (△100) 国際社会学科（廃止） (△284) 心理・コミュニケーション学科（廃止） (△200) ※令和7年4月学生募集停止 数理科学科〔定員減〕 (△1) 令和7年4月名称変更予定 現代教養学部 数理科学科 → 情報数理科学科
私立	金沢星稜大学	人文学部 国際英語学科		30	石川県金沢市	学校法人 稲置学園	・特になし。	人文学部 国際文化学科〔定員減〕 (△30)
私立	金沢工業大学	工学部 機械工学科 先進機械システム工学科 電気エネルギーシステム工学科 電子情報システム工学科 建築学部 建築デザイン学科 建築学科		120 60 100 100 100 100	石川県野々市市	学校法人 金沢工業大学	・工学部航空システム工学科の収容定員未充足の是正に努めること。	工学部 機械工学科（廃止） (△200) ロボティクス学科（廃止） (△100) 電気電子工学科（廃止） (△220) 情報工学科（廃止） (△200) ※令和7年4月学生募集停止 環境土木工学科〔定員減〕 (△20) 情報フロンティア学部（廃止） メディア情報学科 (△120) 経営情報学科 (△60) 心理科学科 (△60) ※令和7年4月学生募集停止 建築学部 建築学科（廃止） (△200) ※令和7年4月学生募集停止 バイオ・化学部 応用化学科〔定員減〕 (△10) 応用バイオ学科〔定員減〕 (△10) 令和7年4月名称変更予定 工学部 航空システム工学科 → 航空宇宙工学科 バイオ・化学部 応用化学科 → 環境・応用化学科 応用バイオ学科 → 生命・応用バイオ学科
私立	名古屋外国語大学	現代国際学部 グローバル共生学科		85	愛知県日進市	学校法人 中西学園	・特になし。	世界共生学部 世界共生学科（廃止） (△85) ※令和7年4月学生募集停止

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

私立	龍谷大学	経営学部 商学科 (3年次編入学定員) 社会学部 総合社会学科 (3年次編入学定員)	160 2 450 10	京都府京都市	学校法人 龍谷大学	・特になし。	社会学部 社会学科(廃止) (3年次編入学定員) コミュニティマネジメント学科(廃止) (3年次編入学定員) 現代福祉学科(廃止) (3年次編入学定員) ※令和7年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和9年4月学生募集停止) 先端理工学部 環境生態工学課程〔定員減〕 経営学部 経営学科〔定員減〕 (3年次編入学定員)〔定員減〕 令和7年4月名称変更予定 先端理工学部 環境生態工学課程 → 環境科学課程	(△210) (△5) (△153) (△3) (△195) (△30) (△15) (△139) (△2)
私立	京都先端科学大学	バイオ環境学部 応用生命科学科 生物環境科学科	80 80	京都府京都市 京都府亀岡市	学校法人 永守学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(バイオ環境学部応用生命科学科) ・人文学部心理学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・人文学部歴史文化学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	バイオ環境学部 バイオサイエンス学科(廃止) バイオ環境デザイン学科(廃止) 食農学科(廃止) ※令和7年4月学生募集停止	(△65) (△55) (△40)
私立	大阪工業大学	情報科学部 実世界情報学科	80	大阪府枚方市	学校法人 常翔学園	・特になし。	情報科学部 ネットワークデザイン学科(廃止) (3年次編入学定員) ※令和7年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和9年4月学生募集停止) 情報システム学科〔定員減〕 情報メディア学科〔定員減〕	(△90) (△5) (△5) (△5)
私立	関西外国語大学	英語国際学部 アジア共創学科 (3年次編入学定員)	200 20	大阪府枚方市	学校法人 関西外国語大学	・特になし。	英語国際学部 英語国際学科〔定員減〕 (3年次編入学定員)〔定員減〕	(△200) (△20)
私立	岡山理科大学	生物地球学部 恐竜学科	45	岡山県岡山市	学校法人 加計学園	・理学部基礎理学科、物理学科、化学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・工学部応用化学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・教育学部初等教育学科、中等教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	理学部 臨床生命科学科(廃止) ※令和7年4月学生募集停止 工学部 生命医療工学科(廃止) ※令和7年4月学生募集停止 生物地球学部 生物地球学科〔定員減〕 教育学部 初等教育学科〔定員減〕 中等教育学科〔定員減〕	(△50) (△25) (△20) (△10) (△10)

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

私立	広島工業大学	工学部 電子情報工学科 110 電気システム工学科 110 機械情報工学科 120 情報学部 情報システム学科 70 情報マネジメント学科 70 環境学部 地球環境学科 100 食健康科学科 90	広島県広島市	学校法人 鶴学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(工学部電子情報工学科) ・情報学部情報工学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・生命学部生体医工学科の収容定員未充足の是正に努めること。	工学部 電子情報工学科(廃止) (△90) 電気システム工学科(廃止) (△90) 機械システム工学科(廃止) (△110) 知能機械工学科(廃止) (△80) ※令和7年4月学生募集停止 建築工学科〔定員減〕 (△10) 情報学部 情報コミュニケーション学科(廃止) (△110) ※令和7年4月学生募集停止 環境学部 地球環境学科(廃止) (△70) ※令和7年4月学生募集停止 生命学部(廃止) 生体医工学科 (△60) 食品生命科学科 (△60) ※令和7年4月学生募集停止
私立	安田女子大学	教育学部 幼児教育学科 130 (3年次編入学定員) 2	広島県広島市	学校法人 安田学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・文学部英語英米文学科の収容定員未充足の是正に努めること。	文学部 英語英米文学科〔定員減〕 (△40) 教育学部 幼児教育学科〔定員減〕 (△90) (3年次編入学定員)〔定員減〕 (△2) 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科〔定員減〕 (△10) 国際観光ビジネス学科〔定員減〕 (△10) 家政学部 生活デザイン学科〔定員減〕 (△40)
私立	聖カタリナ大学	人間健康福祉学部 現代人間学科 70 (3年次編入学定員) 2	愛媛県松山市	学校法人 聖カタリナ学園	・人間健康福祉学部社会福祉学科の収容定員未充足の是正に努めること。	人間健康福祉学部 社会福祉学科(廃止) (△60) (3年次編入学定員) (△2) 人間社会学科(廃止) (△50) (3年次編入学定員) (△2) ※令和7年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和9年4月学生募集停止)
計	14 校	18 学部 30 学科				

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

4 大学院の研究科設置 3 校

令和6年4月

区分	大 学 名	学 部 等 名	学 科 等 名	入学定員 人	位 置	設 置 者	附 帯 事 項 【 遵 守 事 項 】	備 考
公立	名古屋市立大学大学院	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻 (M)	15	愛知県名古屋市	公立大学法人 名古屋市立大学	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	
私立	明星大学大学院	建築学研究科	建築学専攻 (M)	5	東京都日野市	学校法人 明星学苑	・人文学部人間社会学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・情報学部情報学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・教育学部教育学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・心理学部心理学の収容定員超過の是正に努めること。 ・[通信教育課程] 教育学部教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	理工学研究科 建築・建設工学専攻 (M) (廃止) (Δ5) 建築・建設工学専攻 (D) (廃止) (Δ3) ※令和7年4月学生募集停止 人文学研究科 社会学専攻 (M) (廃止) (Δ10) 社会学専攻 (D) (廃止) (Δ3) ※令和7年4月学生募集停止
私立	龍谷大学大学院	心理学研究科	臨床心理学専攻 (M) 臨床心理学専攻 (D)	20 6	京都府京都市	学校法人 龍谷大学	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(心理学研究科臨床心理学専攻 (D))	文学研究科 臨床心理学専攻 (M) (廃止) (Δ10) 臨床心理学専攻 (D) (廃止) (Δ2) ※令和7年4月学生募集停止
計	3 校	3 研究科 (M) 3 専攻 (D) 1 専攻						

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

区分	大 学 名	学 部 等 名 学 科 等 名	入 学 定 員 人	位 置	設 置 者	附 帯 事 項 【 遵 守 事 項 】	備 考
公立	岡山県立大学大学院	デザイン学研究科 デザイン学専攻 (M)	10	岡山県総社市	公立大学法人 岡山県立大学	・情報工学部情報システム工学科の収容定員超過の是正に努めること。	デザイン学研究科 デザイン工学専攻 (M) (廃止) (Δ7) 造形デザイン学専攻 (M) (廃止) (Δ9) ※令和7年4月学生募集停止
公立	山陽小野田市立山口東京理科大学大学院	工学研究科 機械工学専攻 (M) 電気工学専攻 (M) 応用化学専攻 (M)	10 10 10	山口県山陽小野田市	公立大学法人 山陽小野田市立山口 東京理科大学	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(工学研究科機械工学専攻 (M))	工学研究科 工学専攻 (M) (廃止) (Δ15) ※令和7年4月学生募集停止
私立	東北学院大学大学院	経済学研究科 経済データサイエンス専攻 (M)	4	宮城県仙台市	学校法人 東北学院	・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	経済学研究科 経済学専攻 (M) [定員減] (Δ4)
私立	昭和女子大学大学院	文学研究科 文学言語教育専攻 (M)	15	東京都世田谷区	学校法人 昭和女子大学	・特になし。	文学研究科 日本文学専攻 (M) (廃止) (Δ5) 英米文学専攻 (M) (廃止) (Δ5) ※令和7年4月学生募集停止 言語教育・コミュニケーション専攻 (M) (廃止) (Δ10) ※令和7年4月学生募集停止
私立	専修大学大学院	文学研究科 ジャーナリズム学専攻 (M)	5	神奈川県川崎市	学校法人 専修大学	・経済学部国際経済学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・経営学部ビジネスデザイン学科の収容定員超過の是正に努めること。	経済学研究科 経済学専攻 (M) [定員減] (Δ5)
私立	東京理科大学大学院	先進工学研究科 機能デザイン工学専攻 (M) 機能デザイン工学専攻 (D)	25 3	東京都葛飾区	学校法人 東京理科大学	・理学部第二部数学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・創域理工学部数理科学科の収容定員超過の是正に努めること。	
私立	日本大学大学院	危機管理学研究科 危機管理学専攻 (D) スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 (D)	3 3	東京都世田谷区	学校法人 日本大学	・法学部法律学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・文理学部史学科、体育学科、心理学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・理工学部建築学科、海洋建築工学科、応用情報工学科、数学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・生産工学部建築工学科、数理情報工学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・工学部情報工学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・第二部法学部法律学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・[通信教育部] 法学部の収容定員未充足の是正に努めること。 ・[通信教育部] 文理学部の収容定員未充足の是正に努めること。 ・[通信教育部] 経済学部の収容定員未充足の是正に努めること。 ・[通信教育部] 商学部の収容定員未充足の是正に努めること。	
私立	南山大学大学院	理工学研究科 電子情報工学専攻 (M) 機械システム工学専攻 (M) 機械電子制御工学専攻 (D) データサイエンス専攻 (D)	8 8 2 2	愛知県名古屋	学校法人 南山学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(理工学研究科機械システム工学専攻 (M)、機械電子制御工学専攻 (D)、データサイエンス専攻 (D))	理工学研究科 機械電子制御工学専攻 (M) (廃止) (Δ18) システム数理専攻 (D) (廃止) (Δ2) 機械電子制御工学専攻 (D) (廃止) (Δ2) ※令和7年4月学生募集停止 ソフトウェア工学専攻 (M) [定員減] (Δ8)

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

私立	関西学院大学大学院	理工学研究科 建築学専攻 (M) 60 総合政策研究科 国連システム政策専攻 (M) 10	兵庫県三田市	学校法人 関西学院	・神学部の収容定員超過の是正に努めること。 ・総合政策学部メディア情報学科の収容定員超過の是正に努めること。	経済学研究科 経済学専攻 (M) [定員減] (Δ15) 総合政策研究科 総合政策専攻 (M) [定員減] (Δ10) 理工学研究科 生命科学専攻 (M) [定員減] (Δ2) 令和7年4月名称変更予定 理工学研究科 物理学専攻 (M) → 物理・宇宙物理学専攻 (M) 環境・応用化学専攻 (M) → 環境応用化学専攻 (M) 生命科学専攻 (M) → 生物科学専攻 (M) 生命医化学専攻 (M) → 生命医科学専攻 (M) 情報科学専攻 (M) → 情報工学専攻 (M) 人間システム工学専攻 (M) → 知能・機械工学専攻 (M)
計	9 校	10 研究科 (M) 12 専攻 (D) 5 専攻				

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

区分	大学名	学部等名	学科等名	入学定員	位置	設置者	附帯事項【遵守事項】	備考
私立	東北福祉大学	応用福祉学連係教育課程		80人	宮城県仙台市	学校法人 梅檀学園	・ [通信教育部] 総合福祉学部社会福祉学科の収容定員未充足の是正に努めること。	総合マネジメント学部（廃止） 産業福祉マネジメント学科 情報福祉マネジメント学科 ※令和7年4月学生募集停止 学部等連係課程実施基本組織等の入学定員として活用する各連係協力学部等の入学定員の内数 総合福祉学部 社会福祉学科 <50> 共生まちづくり学部 共生まちづくり学科 <20> 健康科学部 医療経営管理学科 <10>
私立	京都ノートルダム女子大学	女性キャリアデザイン学環		30	京都府京都市	学校法人 ノートルダム女学院	・ 国際言語文化学部英語英文学科、国際日本文化学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ・ 現代人間学部生活環境学科、こども教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	国際言語文化学部 国際日本文化学科〔定員減〕 <△5> 現代人間学部 生活環境学科〔定員減〕 <△5> 学部等連係課程実施基本組織等の入学定員として活用する各連係協力学部等の入学定員の内数 国際言語文化学部 英語英文学科 <25> 現代人間学部 生活環境学科 <5> 令和7年4月名称変更予定 社会情報課程 → 社会情報学環
計	2 校	2 組織						

(注)「備考」欄の()書きの数字は、今回の届出に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。
< >書きの数字は、学部等連係課程実施基本組織等の入学定員として活用する各連係協力学部等の入学定員の内数を示す。